



第57期 中間事業報告書

# GLORY REPORT

平成14年4月1日～平成14年9月30日

**GLORY**®

グローリー工業株式会社



# 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第57期上半期（平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

## 営業の概況

### 全般的概況

当上半期のわが国の経済は、米国経済が減速したことによる株価の下落やデフレ経済の加速、さらに製造業の海外移転などによる雇用環境の悪化など、景気は極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような一般景況のなかで、当社の関連市場である金融市場につきましては、不良債権処理と株価下落など金融機関を取り巻く環境が厳しく設備投資が予想以上の落ち込みとなり、需要は前年同期に比べ大きく減少いたしました。流通市場につきましては、個人消費が低迷するなかで百貨店、スーパーの企業収益が伸び悩み、全般的に低調でありましたが、セルフ型ガソリンスタンド向け機器の需要やフロント（お客様窓口）機器などの需要につきましては比較的順調に推移いたしました。自販機市場につきま

しては、たばこ販売機の需要減により低調な推移となりました。遊技市場につきましては、新店舗の出店や店舗内改装などの設備投資が抑制されましたが、カード関連機器における新製品需要は順調でありました。

このような環境下において当社は、各市場におけるきめ細かなニーズに迅速に対応するために新技術の研究と新製品の開発を推進するとともに、開発・設計業務や生産の合理化・効率化に取り組むなど経営努力に努めましたが、厳しい外部環境の下で売上高が減少するなど前年同期と比べると厳しい状況でありました。この結果、当上半期の売上高は332億2千2百万円（前年同期比15.9%減）となりました。このうち、国内の売上高は293億4千8百万円（前年同期比17.1%減）、輸出の売上高は38億7千3百万円（前年同期比5.7%減）となりました。利益につきましては、売上高の大幅な減少はありましたが、一般経費の節減やコストダウンなど経営体質の改善に努力いたしました結果、経常利益は28億5千7百万円（前年同期比1.5%増）、中間純利益は19億9千8百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株につき8円とさせていただきます。

## 会社に対処すべき課題

当社は、貨幣処理における世界のトップブランドを目指し、当社のコア技術であります認識・識別技術、メカトロ技術に一層の磨きをかけることによって市場ニーズに対応した製品の開発を強力に推し進めていく所存であります。さらに、当社コア技術に裏打ちされた各種機器を情報技術（IT）と融合させることによって、お客様にとって付加価値の高い、より広範囲なソリューションの提供に努めて参りたいと考えております。

なお、当面の課題といたしましては、平成16年度上期中に予定されております新紙幣の発行に対応して、新紙幣識別技術の確立とそれに伴う生産力の強化を図るなど、万全の対策を実施し、お客様にご不便をお掛けすることがないように最大限の努力をして参りたいと考えております。

このように環境変化への迅速かつ的確な対応に努め、グループ総力の結集により業績向上を図り、株主のみなさまの期待に応えていく所存であります。

## 投資単位の引下げについて

当社は、投資家のみなさまに投資していただきやすい環境を整えるため、平成14年10月30日開催の取締役会において、1単元の株式の数を1,000株から100株に引き下げることと決議し、平成14年12月16日より実施することいたしました。

これにより、さらなる当社株式の流通の活性化と投資家層の拡大が図られるものと期待しております。

株主のみなさまには、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年12月



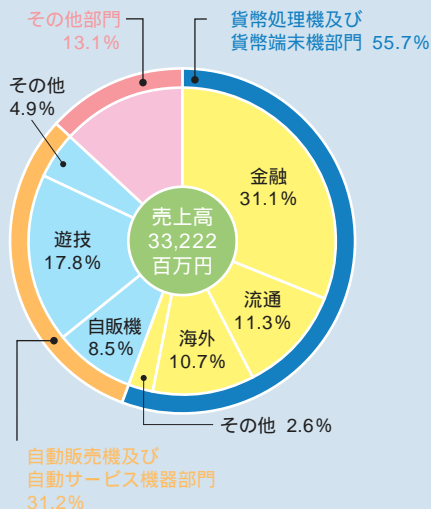
取締役社長 西野秀人

# 部門別概況

(注)当年度より、部門区分を変更しております。

## 貨幣処理機及び貨幣端末機部門

主要な市場は、金融市場、流通市場、海外市場であり、部門全体の売上高は、その他の市場の売上高も含めて185億8百万円（前年同期比19.0%減）となりました。



### 金融市場

硬貨包装機やオープン出納システムの販売は、金融機関の設備投資が大幅に抑制されたことにより減少いたしました。さらに、OEM商品でATM搭載用の硬貨入出金機や金融機関の窓口用紙幣および硬貨入出金機の販売も減少いたしました。

この結果、当市場の売上高は103億3千5百万円（前年同期比30.4%減）となりました。

### 流通市場

小型入金機の販売は、設備投資の先送りにより減少いたしました。しかし、スーパー・小売店向けのレジ釣銭機やセルフ型ガソリンスタンド向けの小型現金管理機の販売は、選別・収納作業

の自動化機器として好評であり、順調に増加いたしました。

この結果、当市場の売上高は37億6千4百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

### 海外市場

アジア向けの紙幣整理機の販売は増加いたしました。ユーロ通貨発行による特需が一段落した欧州やカジノ需要が低迷した米国での硬貨包装機の販売は減少いたしました。また、OEM商品につきましては紙幣放出装置の販売は増加いたしました。また、紙幣受入装置の販売は大きく減少いたしました。

この結果、当市場の売上高は35億3千6百万円（前年同期比7.5%減）となりました。



小型現金管理機 RG-120  
セルフ型ガソリンスタンドの増加に伴いRGシリーズが引き続き好評です。



病院向け精算システム FK-200DQ  
診察後、患者さんがご自分で診察料等の精算を行なうことのできるシステムです。

## 自動販売機及び自動サービス機器部門

主要な市場は、自販機市場、遊技市場であり、一部、金融・流通市場の製品も含まれております。部門全体の売上高は、その他の市場の売上高も含めて103億5千7百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

### 自販機市場

券売機の販売は、業務提携による効果などで増加いたしました。また、カード販売機の販売も、社員食堂などの底堅い需要に支えられ、増加いたしました。しかし、たばこ販売機の販売は、市場の成熟化により減少いたしました。

この結果、当市場の売上高は28億2千9百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

### 遊技市場

パチンコホールのカウンター回りの機器である景品払出機等の販売は、新店舗の出店や店舗内改装などの設備投資の抑制により減少いたしました。



印刷式券売機 KM-J210

カラフルなチケット販売機。レイアウトの柔軟さに加え、販売状況の管理もしやすい製品です。



紙幣整理機 UW-100JP

紙幣を高速で分類・計数し、表裏整理なども行なう卓上タイプで、パチンコホール等を始め、幅広いユーザーの間で活躍しています。

## その他部門

主にサービス・修理用部品であり、製品売上高の減少も影響し、販売は減少いたしました。

この結果、当部門の売上高は43億5千6百万円（前年同期比36.4%減）となりました。



硬貨レジ釣り銭機 RT-10  
紙幣レジ釣り銭機 RAD-S1

# 中間決算報告(単体)

中間貸借対照表 (平成14年9月30日現在)

(単位: 百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	64,331	流動負債	16,451
現金及び預金	27,882	支払手形	3,626
受取手形	36	買掛金	4,298
売掛金	19,510	短期借入金	3,910
有価証券	929	未払法人税等	728
たな卸資産	13,669	賞与引当金	1,421
短期貸付金	503	その他	2,466
繰延税金資産	1,004	固定負債	5,976
その他	814	退職給付引当金	5,523
貸倒引当金	19	役員退職引当金	452
固定資産	42,908	負債合計	22,428
有形固定資産	22,229	資本の部	
建物	9,162	資本金	12,892
土地	8,177	資本剰余金	20,629
建設仮勘定	91	資本準備金	20,629
その他	4,797	利益剰余金	51,618
無形固定資産	1,900	利益準備金	3,223
投資その他の資産	18,778	任意積立金	44,354
投資有価証券	14,035	中間未処分利益	4,040
長期貸付金	273	その他有価証券評価差額金	269
繰延税金資産	3,326	自己株式	60
その他	1,144	資本合計	84,812
貸倒引当金	0	負債及び資本合計	107,240
資産合計	107,240		

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 32,558百万円

3. 1株当たり中間純利益 53円87銭

## 中間損益計算書 (平成14年4月1日~平成14年9月30日) (単位:百万円)

売上高.....	33,222
売上原価.....	27,535
売上総利益	5,686
販売費及び一般管理費.....	3,920
営業利益.....	1,766
営業外収益.....	1,363
受取利息	12
受取配当金	966
賃貸収入	196
その他	187
営業外費用.....	272
支払利息	21
賃貸原価	117
部品廃却損	103
その他	30
経常利益.....	2,857
特別利益.....	34
特別損失.....	89
固定資産除却損	78
その他	11
税引前中間純利益.....	2,801
法人税、住民税及び事業税.....	880
法人税等調整額.....	77
中間純利益.....	1,998
前期繰越利益.....	2,042

---

中間未処分利益.....4,040

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間決算報告(連結)

中間連結貸借対照表 (平成14年9月30日現在)

(単位: 百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	107,630	流動負債	44,129
現金及び預金	54,827	支払手形及び買掛金	12,322
受取手形及び売掛金	24,895	短期借入金	19,182
有価証券	929	未払法人税等	2,425
たな卸資産	22,371	賞与引当金	3,362
繰延税金資産	2,670	その他	6,836
その他	2,071	固定負債	11,223
貸倒引当金	135	退職給付引当金	9,871
固定資産	55,464	役員退職引当金	1,126
有形固定資産	34,557	その他	224
建物及び構築物	14,070	負債合計	55,353
土地	12,682	少数株主持分	490
その他	7,803	資本の部	
無形固定資産	3,494	資本金	12,892
投資その他の資産	17,412	資本剰余金	20,629
投資有価証券	6,740	利益剰余金	74,182
繰延税金資産	6,050	その他有価証券評価差額金	233
その他	4,651	為替換算調整勘定	161
貸倒引当金	29	自己株式	60
資産合計	163,094	資本合計	107,250
		負債、少数株主持分及び資本合計	163,094

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 中間連結損益計算書 (平成14年4月1日～平成14年9月30日) (単位：百万円)

売上高	56,852
売上原価	35,955
売上総利益	20,897
販売費及び一般管理費	16,313
営業利益	4,584
営業外収益	349
受取利息	28
受取配当金	46
持分法による投資利益	50
賃貸収入	34
株式転換に伴う受贈益	42
その他の営業外収益	147
営業外費用	349
支払利息	143
たな卸資産売却損	116
為替差損	52
その他の営業外費用	37
経常利益	4,584
特別利益	111
固定資産売却益	77
貸倒引当金戻入額	34
特別損失	379
固定資産売却損	46
固定資産除却損	118
投資有価証券評価損	178
会員権評価損	30
その他の特別損失	5
税金等調整前中間純利益	4,316
法人税、住民税及び事業税	2,548
法人税等調整額	672
少数株主利益(減算)	42
中間純利益	2,398

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (平成14年4月1日～平成14年9月30日) (単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	4,316
減価償却費	2,328
持分法による投資利益	50
退職給付引当金の増加額	808
賞与引当金の減少額	76
投資有価証券評価損	178
受取利息及び受取配当金	74
支払利息	143
固定資産売却損	118
会員権評価損	30
売上債権の減少額	5,990
たな卸資産の増加額	878
仕入債務の減少額	4,584
その他	368
小計	7,880
利息及び配当金の受取額	75
利息の支払額	144
法人税等の支払額	2,621
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,189
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金等の預入による支出	153
定期預金等の払戻による収入	217
有形固定資産の取得による支出	2,273
有形固定資産の売却による収入	126
無形固定資産の取得による支出	374
投資有価証券の取得による支出	328
その他	139
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,646
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減少額	1,125
配当金の支払額	296
その他	64
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,487
現金及び現金同等物に係る換算差額	15
現金及び現金同等物の増加額	1,040
現金及び現金同等物の期首残高	53,773
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加高	692
現金及び現金同等物の中間期末残高	55,505

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ホテルのロビーで・・・

簡単＆スピーディーにホテルチェックイン。  
ホテル業務の省力化を大きくサポート！

ホテルのロビーでは、新製品「ホテル向け自動チェックインシステム SAT-20」が活躍しています。

消費低迷が続くデフレ経済の下、ホテル業界でも構造改革を余儀なくされ、経営スタイルも顧客のニーズに合わせて多様化してきました。その1つが、従来の「サービス業」としてのホテルとは一線を画した“低価格型ホテル”です。ビジネスマンを主なターゲットとしたこれらのホテルは高い稼働実績をあげ、新しいホテル形態として定着しつつありますが、宿泊費を低価格に抑えるためには徹底した省力化経営が不可欠です。そういった市場のニーズに対応し、このシステムは誕生しました。

宿泊客は、フロントで受け取ったカードキーをこの自動チェックイン機 SAT-20 に挿入し、画面のガイダンスに従って、現金・デビットカード・クレジットカードなど任意の方法で宿泊費を精算します。あとは、部屋の鍵としての機能が付加されたカードキーと領収書を受け取るだけのと

ても簡単なチェックインです。

この製品の導入により、ホテル側はフロントでの現金確認や受渡しなど現金管理のわずらわしさを解消することができ、人件費の削減も可能です。宿泊費を低価格に抑えるために必要不可欠な省力化経営を大きくサポートする製品です。



ホテル向け  
自動チェックインシステム  
SAT-20

## 病院の窓口で・・・

診察料等の医療費を、  
デビットカードやクレジットカードで決済。



カード専用電子決済端末 PHD-10  
デビットカードまたはクレジットカードで、医療費の  
支払ができる製品です。

病院等の医療機関において、医療費の支払窓口は、会計業務と現金授受の煩雑さなどにより混雑していることが多く、医療機関の大きな課題となっています。

この会計業務を効率化する製品として、当社ではすでに発売している病院向け精算システム FK-200 に加え、デビットカードまたはクレジットカードで支払いができる電子決済端末 PHD-10 を新しく開発しました。

診察が終わった患者さんは、会計窓口で順番を長時間待つことなく、自分で診察カードを通して医療費の精算を行なうことができます。デビットカードやクレジットカードを利用できるため、入院費や救急外来時など高額を支払いを行なう際にも大変便利です。また、医療機関にとっては、患者さんへのサービス向上と会計業務の効率化を実現できる製品として、ご好評をいただいております。

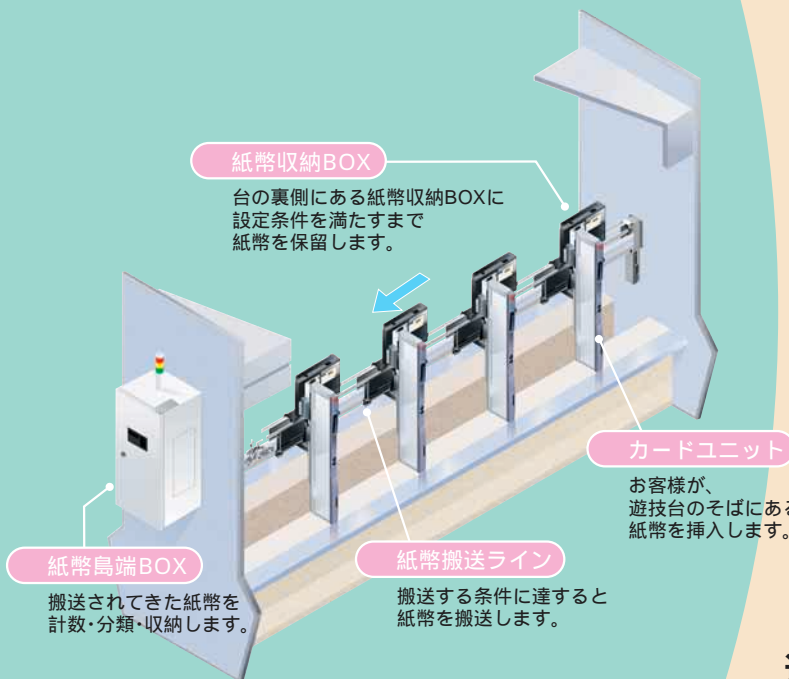
## ? デビットカードって？



金融機関のATMでしか利用できなかったキャッシュカードが、そのまま買物や食事などの支払いに利用できるサービスです。

- 今使用している金融機関のキャッシュカードが、そのまま「デビットカード」として使えます。特別な手続や年会費等は不要です。
- キャッシュカードを提示して、ご本人が暗証番号を入力して使います。
- お店に設置された端末機にカードを通すと、代金が口座から利用と同時に引き落とされます。

## アミューズメントホールで・・・



紙幣搬送システム  
EPB-100 EPV-100 EPN-100

グローリーは、金融機関や流通業界だけでなく、ホール等の遊技業界でも活躍しています。

例えば、アミューズメントホールではお客様の楽しみをサポートしています。遊技台のそばにある玉貸し機から紙幣を回収する「紙幣搬送システム」はさらにバージョンアップされ、ご好評をいただいております。

お客様がカードユニット( )に挿入した紙幣を、玉貸し機の中にセットされた紙幣収納BOX( )に一時保留し、時間や枚数などが設定した条件に達すると、紙幣搬送ライン( )より紙幣島端BOX( )に搬送します。紙幣をまとめて搬送するため、紙幣詰まりなどのトラブルに強いシステムになりました。

## 遊びをもっと快適に。

サービス機器ひとつひとつはもちろんホール全体をひとつのシステムにとらえさまざまな視点からベスト・ソリューションを導き出す——  
私たちは、長年培ってきた信頼と実績の総合力をベースに、いままでにない新しいカタチを生み出してまいります。

# 株式の状況

平成14年 9月30日現在

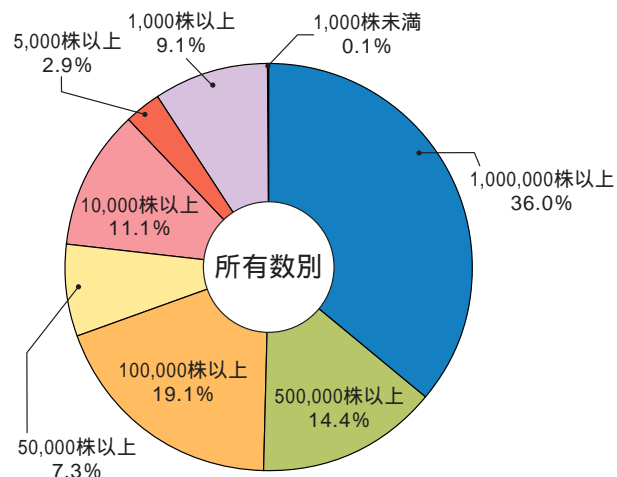
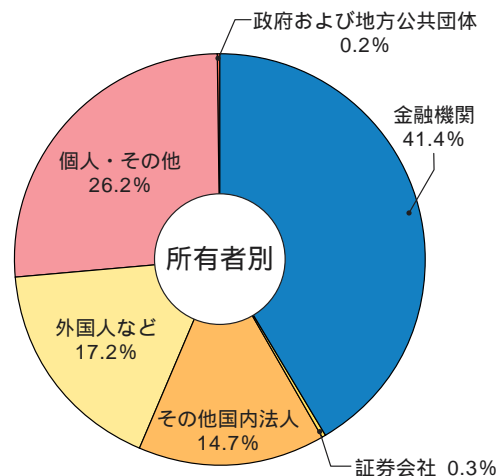
## 株式の状況

会社が発行する株式の総数	128,664,000株
発行済株式の総数	37,118,105株
株主数	2,869名
	(前期末比 12名減)

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	2,094	5.6
龍田紡績株式会社	1,969	5.3
株式会社三井住友銀行	1,823	4.9
ザ チェース マンハッタンバンク エヌエイ ロンドン	1,515	4.1
ポストセーフデポジット ビーエスディーテー リーティー クライアツ オムコバ	1,423	3.8
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	1,341	3.6
有限会社オノエインター ナショナル	1,100	3.0
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,082	2.9
有限会社ウイニング	1,000	2.7
グローリーグループ 社員持株会	903	2.4

## 株式分布状況



# 会社の概要

平成14年9月30日現在

## 会社の概要

商号 グローリー工業株式会社  
GLORY LTD.  
設立 昭和19年11月27日  
資本金 12,892,947,600円  
ホームページ <http://www.glory.co.jp>

## 事業所

本社・姫路工場  
〒670 8567  
兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号  
TEL(0792)97 3131(代表)  
FAX(0792)94 6233

東京本部  
〒141 8581  
東京都品川区大崎五丁目4番6号  
TEL(03)3495 6301(代表)

埼玉工場  
〒347 0004  
埼玉県加須市古川二丁目4番地1  
TEL(0480)68 4661(代表)

## 従業員の状況

従業員数	男性	女性	合計
	1,464名	318名	1,782名

## 連結子会社

グローリー商事株式会社  
グローリー機器株式会社  
北海道グローリー株式会社  
Glory(U.S.A.)Inc.  
グローリーサービス株式会社  
Glory GmbH  
グローリー・リンクス株式会社

グローリーアイ・エス・ティ株式会社  
株式会社グローリーテクノ24  
GLORY MONEY HANDLING MACHINES PTE LTD  
加西グローリー株式会社  
佐用グローリー株式会社  
グローリーテック株式会社

## 役員

*取締役会長	尾上 壽 男
*取締役社長	西野 秀 人
専務取締役	尾上 勝 彦
専務取締役	村上 雅 俊
常務取締役	大上 邦 弘
常務取締役	牛尾 允 俊
常務取締役	松岡 則 重
取締役	浦川 輝 三
取締役	松下 秀 明
取締役	船引 祐 一
取締役	尾上 広 和
取締役	橋本 浩 一
取締役	尾上 佳 雄
取締役	龍田 信 也
常勤監査役	有吉 透 夫
常勤監査役	上羽 昭 夫
監査役	八幡 尚 弘
監査役	安平 和 彦

\*印は、代表取締役であります。

## 株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月中
1単元の株式の数	1,000株 (注)平成14年12月16日をもちまして、 1単元の株式の数を1,000株から 100株に変更いたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541 8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
(各種お問合せ)	TEL 大阪(06)6233 4555 東京(03)3666 2246 株式関係のお手続用紙のご請求は、 次の電話番号およびインターネット で24時間承っております。 手続用紙請求TEL: 大阪(06)6233 4560 東京(03)3666-2270 ホームページ: <a href="http://www.daiko-sb.co.jp">http://www.daiko-sb.co.jp</a>
同取次所	株式会社だいこう証券ビジネス 全国各支社
単元未満株式の 買取請求	単元未満株式の買取請求は、名義書 換代理人にてお取り扱いしております。 株券の保管振替制度を利用して預託さ れた単元未満株式の買取請求は、預託 窓口の証券会社を通じてお申し出くだ さい。

**GLORY®**

<http://www.glory.co.jp>